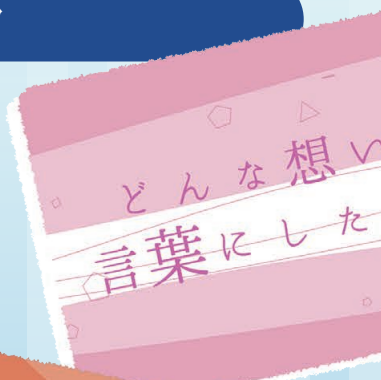


みんなで創作を楽しめる、ウェブブラウザ上で動く
歌詞アニメーション制作支援サービス



TextAlive

活用ガイドブック





TextAlive へようこそ!

TextAlive は、音楽に合わせて歌詞が動く「歌詞アニメーション」をウェブブラウザ上で作れる制作支援サービスです。誰でも簡単に自分好みの演出をつけて動画を制作できます。

TextAlive は、未来の創作文化を見据えて国立研究開発法人 産業技術総合研究所 メディアインタラクション研究グループが実施している研究プロジェクトの実証実験の場でもあります。ウェブ上にコンテンツを公開されている多くの方々によってはじめて可能になったプロジェクトであり、ウェブを前提としたコンテンツ制作の可能性を追求しています。

音楽が好きな人、音楽を作る人、動画を作る人、プログラミングできる人、さまざまなモチベーションを持ったみなさまに活用していただけると嬉しいです。

目次

音楽理解技術とプログラミング環境技術で広がる 歌詞アニメーションの世界

- TextAlive って？ 04
- そもそも歌詞アニメーションとは？ 04
- TextAliveの仕組み 04

TextAliveを使ってみよう！

- TextAliveの楽しみ方 06
- 歌詞アニメーション制作の流れ 07

Case 1. 誰でも簡単に動画を楽しめる

- 投稿作品を見てみよう 08
- 歌詞アニメーションを自動生成してみよう 09
- 歌詞アニメーションをカスタマイズしてみよう 11

Case 2. クリエイター向けの機能も充実

- 自作・未公開楽曲を利用したいときは？ 13
- 動画をさらに作り込んでみよう 14
- 完成した歌詞アニメーションを公開しよう 16

Case 3. プログラミングで拡張できる

- TextAliveをプログラミングで強化しよう 17
- TextAliveのAPIを利用しよう 17

文字と出会う！ TextAlive Fonts

- TextAlive Fontsとは？ 18
- TextAliveで使えるフォントについて 18

創作文化の未来を拓く

- TextAliveの活用事例 20
- TextAliveの設計思想 21





音楽理解技術と プログラミング環境技術で広がる 歌詞アニメーションの世界

・TextAlive って？

TextAliveは、ウェブ上に公開されている楽曲の歌詞を利用したアニメーション(動画)を作成・公開できる制作支援サービスです。簡単に自分好みの演出をつけて動画を制作できます。

音楽をもっと楽しみたい人、自分の曲に動画をつけたい人、新しい演出を開発したい人、みんなで協力し合ってコンテンツを作り出すことができます。

・そもそも歌詞アニメーションとは？

歌詞アニメーションは、音楽と同期して歌詞がアニメーションする動画の演出手法で、Kinetic Typography(キネティックタイポグラフィ)の一種です。近年では、リリックビデオと呼ばれることも多くなっています。歌詞の魅力を伝えられる効果的な表現ですが、タイミング調整と動きの設計を文字ごとに行う必要があり、歌詞カードや単なるカラオケ

表示と比べて、制作に膨大な手間が必要でした。

TextAliveは、独自の音楽理解技術とプログラミング環境技術で、この問題を解決します。

歌詞アニメーションは、
音楽に合わせて歌詞の内容を
視覚的に魅力たっぷりに
伝えることができるよ！

・TextAliveの仕組み

TextAliveはSongle*の音楽理解技術により、楽曲と歌詞を登録するだけで、歌詞アニメーション制作に必要な情報を楽曲から自動的に解析することが可能です。

楽曲のサビやビートなどの音楽地図情報、歌詞の各文字がいつ発声されているかといった解析結果をもとに、誰でも気軽に歌詞アニメーション制作に参加できます。

*Songleとは？

Songle (<https://songle.jp>, p.21) は TextAlive と同じ研究グループが研究開発して公開している能動的音楽鑑賞サービスです。音楽理解技術によって楽曲の中身を解析する機能を持ち、歌詞アニメーションの自動生成(p.09)に欠かせない連携サービスです。「Songle プライベート楽曲を使ってみよう」(p.13)にも登場します。

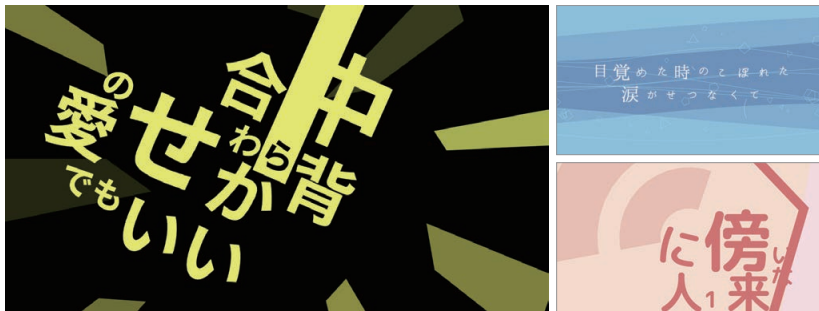




TextAliveはプログラミング環境技術により、ウェブブラウザ上で動画をインタラクティブに生成・再生することができます。動画には、音楽理解技術で得られた情報をもとに、歌詞の内容や楽曲の進行に合わせてさまざまな効果・演出がつけられます。

また、TextAliveにはさまざまな曲調に合う「スタイル」が用意されており、どのスタイルがより楽曲のイメージに合うか、ウェブブラウザ上で即座に切り替えて試すことができます。スタイルについての詳細は「歌詞アニメーションをカスタマイズしてみよう」(p.11)をご覧ください。

TextAliveは、「どのような歌詞アニメーションにしたいか」という演出に最初から集中することができる、歌詞アニメーション制作支援サービスです。



▲ TextAlive を利用して作成された歌詞アニメーションの作例

さらに TextAlive は、歌詞アニメーションを編集するために設計されたユーザインタフェースを備えています (p.12)。ウェブブラウザ上で動画を直感的に編集でき、ユーザの意図を正確に反映した演出を実現できます。





TextAliveを使ってみよう！

まずは<https://textalive.jp>にアクセス！

・TextAliveの楽しみ方

TextAliveは歌詞アニメーションを視聴できるだけでなく、好きな楽曲や自作曲にアニメーションをつけたり、プログラミングで演出力を強化したり、さまざまなユースケースで活用できる創作支援環境です。TextAliveを利用して、自分の「やりたいこと」を実現しましょう！

Case 1. 誰でも簡単に動画を楽しめる - p.08

まずは他のユーザが作った作品を視聴してみたり、歌詞アニメーションを自動生成したりして、TextAliveを気軽に楽しんでみましょう！



Case 2. クリエイター向けの機能も充実 - p.13

動画をさらに作り込んでクオリティアップを目指したり、他サービスへアップロードしたりして、創作活動の輪を広げることができます。



Case 3. プログラミングで拡張できる - p.17

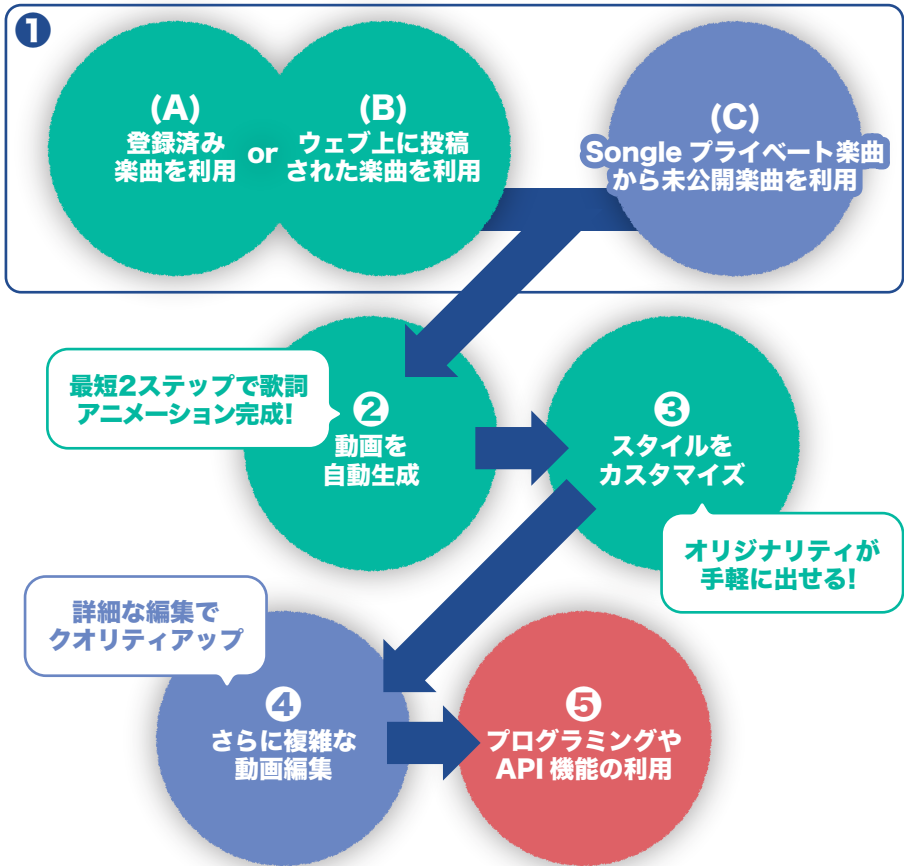
JavaScriptでプログラミングして新しい演出を開発したり、APIを利用して歌詞アニメーションを外部ウェブサイトに掲載したりすることも可能です。



・歌詞アニメーション制作の流れ

最短2ステップ！TextAliveの歌詞アニメーション制作

TextAliveを利用した歌詞アニメーション制作の手順は非常にシンプルです。好きな楽曲を選ぶと、すぐに歌詞アニメーションが自動生成されます。さらに、スタイルごとにフォントや演出に関わるパラメータを調整したり、専用の動画編集画面で作り込んだりすることができます。



利用できる楽曲について

TextAliveで歌詞アニメーションを制作する際に利用できる楽曲は、以下のようになります。

- (A) 登録済みの楽曲を利用する
 - (B) 未登録楽曲をウェブ上から検索、Songleに登録し、利用する
 - (C) Songleのプライベート楽曲機能で、ウェブ上に公開されていない楽曲を使用する
- (A)(B)についてはCase 1 (p.09)、(C)についてはCase 2 (p.13)をご覧ください。

気軽に楽しみたい派からこだわり派まで満足できる動画編集機能

TextAliveでは、以下のように段階的な動画編集を行うことが可能です。

- ② 楽曲選択後の歌詞アニメーション自動生成
- ③ 歌詞アニメーション自動生成後のパラメータを用いたスタイルのカスタマイズ
- ④ カスタマイズ後のさらに複雑な動画編集

②についてはCase 1 (p.09-10)、④についてはCase 2 (p.14-15)をご覧ください。

Case
1

誰でも簡単に動画を楽しめる

歌詞アニメーションを視聴したり、自動生成したりしてみよう

1. 投稿作品を見てみよう

1 投稿作品(動画)を探す

「動画を見よう」のページにアクセスすると、これまでにTextAliveで制作された歌詞アニメーションの一覧を見ることができます。

みんなの作品を見ることで
新しいアイデアが生まれる
きっかけになるかも？



▲ TextAliveを利用して制作・保存された動画の一覧ページ

2 動画を再生をする

気になった作品を選んでクリックすると、歌詞アニメーションの再生画面に移動します。動画プレイヤーをクリックすると、歌詞アニメーションを視聴することができます。

さらにこの再生画面から、動画の編集ページ(p.14-15)へ直接移動することができます。



▲ 動画プレイヤーをクリックすることで歌詞アニメーションが再生される

2. 歌詞アニメーションを自動生成してみよう

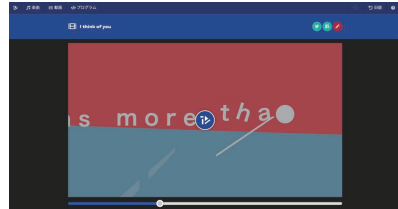
1 楽曲を探す

「楽曲を探そう」のページに掲載されている一覧から選ぶか、URLやキーワードを指定・検索して楽曲を選択してください。

既にSongleに登録されている楽曲の場合は、そのまま楽曲ページが開きます。



▲ 楽曲はキーワードから検索して探すこともできる



Songle登録済み楽曲なら
最短2ステップで
歌詞アニメーションを生成可能！

Songleに登録されていない楽曲の場合は、登録フォームが開くので、そこから登録を行うことができます。piapro、ニコニコ動画、YouTubeに投稿されている楽曲が利用できます。

楽曲 staff.aist.go.jp/t.nakano/music/VocaWatcher.Prologue.Miku.mp3 は 2012/8/2 18:38:27 にSongleに登録され、現在解析中です。しばらく経ってからページを再読み込みしてみてください。

Songleによる解析は、通常は10分程度で完了します。解析が30分以上完了しない場合は、このページのURLを添えて [textalive-ml\[at\]aist.go.jp](mailto:textalive-ml[at]aist.go.jp) または [@TextAlivejp](https://twitter.com/TextAlivejp) にご連絡ください。

楽曲
staff.aist.go.jp/t.nakano/music/VocaWatcher.Prologue.Miku.mp3

楽曲名
【初音ミク】 PROLOGUE 【ぼかりす+ぽかうお】

アーティスト名
VocaListener (AIST)

Songleへ楽曲を登録

? 使い方 お知らせ

© TextAlive 2015-2019

▲ 使いたい曲が登録されていない場合は、フォームから登録することができます

2 歌詞URLを指定する

次に歌詞URLを指定します(既に歌詞が指定されている楽曲の場合は、そのまま歌詞アニメーションの視聴に移ることができます)。

歌詞が指定されていない楽曲の場合は、歌詞が載っているURLを入力するフォームが出ています。piaproのテキストページや、URLが .txt で終わるプレーンテキストなどに対応しています。

最初に歌詞の登録状況が
確認されます



歌詞URLを登録することで
歌詞アニメーションを
楽しめるようになります



▲ 使いたい曲の歌詞 URL を登録すれば、歌詞アニメーションの自動生成が可能に！

3 自動生成された歌詞アニメーションを視聴する

動画プレイヤーの再生ボタンをクリックすると、自動生成された歌詞アニメーションが再生されます。

停止する際は、動画プレイヤーをクリックしてください。



▲ TextAlive で自動生成された歌詞アニメーションの作例



工夫次第でいろんな
歌詞アニメーションが
つくれちゃうんだ！

3. 歌詞アニメーションをカスタマイズしてみよう

1 スタイルを選択する

TextAliveには「スタイル」と呼ばれるアニメーションのパターンが何種類も用意されています。楽曲の雰囲気に合わせて、好きな「スタイル」を選んでみてください。



▲ 楽曲ページではスタイルの一覧がパネル形式で表示され、クリックすると楽曲全体の演出が瞬時に切り替わる

新スタイルを使ってみよう

2019年4月より、TextAliveに新しい「スタイル」が5種類追加されました。追加されたスタイルの制作者、daniwellさんによるコメントを参考に、ぜひ使ってみてください。

ポップ

制作者コメント

明るい感じのスタイルで、間奏や文字表示時にプリミティブな図形のアニメーションが表示される、軽やかで爽快感のある仕上がりになっています。



ロック

制作者コメント

ロックらしいカッコいいスタイルではありますが、パラメタでフォントや配色などを変えればポップやクラブミュージックなど様々なジャンルの曲調にも合わせられると思います。

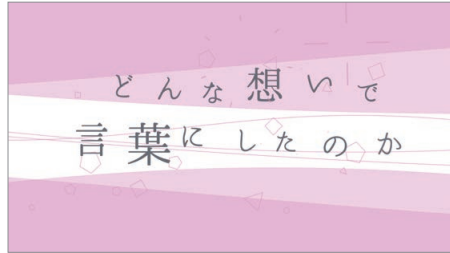


「ポップ」と「ロック」はそれぞれ、文字組みのレイアウトが異なる2種類のパターンが用意されています。同じスタイルを適用していても、背景や文字の色、フォントによってがらりと印象が変わります。カスタマイズ機能(p.12)を使って、自分なりの表現を追求してみてください。

バラード

制作者コメント

ロックやポップと比べて線が細く柔らかいのが特徴のスタイルで、そのままでもよいですが、例えば動画編集ソフトと組み合わせて実写映像などを背景に合わせたりと一工夫するのもオシャレ度が増してよいかと思います。



制作者プロフィール | daniwell

作詞作曲に加え、デザインや映像制作、プログラミングを駆使したインタラクティブなコンテンツの制作なども行うマルチクリエイター

2 カスタマイズする

「スタイル」のパネルをクリックして選択すると、スタイルの演出や効果を変更できるパラメタが表示されます。文字のサイズや背景色などをカスタマイズして、自分だけのオリジナル歌詞アニメーションを作成してみましょう。



▲ パラメタを調整することでオリジナリティを追求できる

3 保存する

カスタマイズした歌詞アニメーションは、保存して他の人に視聴してもらうことが可能です。

また、動画を保存したあと、本格的な編集画面でさらに作り込むことができます（詳細はp.14）。



▲ 保存した歌詞アニメーションは「動画を見よう」のページに掲載され、他のユーザに視聴してもらうことができます

Case
2

クリエイター向けの機能も充実

Songleプライベート楽曲を利用したり、動画を編集したりしてみよう

1. 自作・未公開楽曲を利用したいときは？

Songleプライベート楽曲を使ってみよう

Songleにユーザ登録すると、手元のMP3形式の楽曲をアップロードしてSongle上で楽しむ機能をTextAliveでも連携して利用できるようになり、ウェブ上に一般公開されていない楽曲を使って歌詞アニメーションを制作できます。

 **新規アップロード**



MP3ファイルをここにドラッグ&ドロップするか、クリックして選択してください

アップロード

キャンセル

TextAliveへのログイン後に
表示されるフォームに
MP3ファイルをドラッグ&ドロップ

楽曲名

PROLOGUE

アーティスト名

VocaListener(AIST)

Songleへ楽曲を登録

楽曲名とアーティスト名を
登録

歌詞テキスト

心の痛みは 声にできない ささやき
わたしの中で 高く積もって
夢のあなたは 素直に すべて言えたよ
目覚めた時の こぼれた涙が せつなくて

今すぐ会いたい 今ならきつと言えるよ
明日を信じる 確かな気持ちを
あなたに向かうよ まだ頼りない勇気で
探し続けた 二人の ほんとのプロローグ

歌詞テキストを
登録

Songleのアカウントを使ってTextAliveにログインすると、楽曲をアップロードできるフォームが表示されます。任意のMP3ファイルをドラッグ&ドロップして「アップロード」をクリックします。楽曲名とアーティスト名、歌詞テキストの登録後、歌詞アニメーションを再生できます。

視聴した作品をその場で直感的に手直しできるのがTextAliveの特徴のひとつ！

2. 動画をさらに作り込んでみよう

1 歌詞アニメーションの編集

歌詞アニメーションの自動生成(p.09)・カスタマイズ(p.11)が完了したら、動画を保存して本格的な編集画面でさらに作り込んでみましょう。

動画の保存後、楽曲ページの動画情報タブに表示される「動画を編集する」ボタンをクリックすると、歌詞アニメーションを編集できるページに移動します。

また、この編集機能は他のユーザが作った動画に対しても利用することができます。



その動画がどうやって作られたのか直接知ることができるからノウハウを共有しやすいんだって



再生ページで動画をカスタマイズ後、「動画を保存する」をクリック

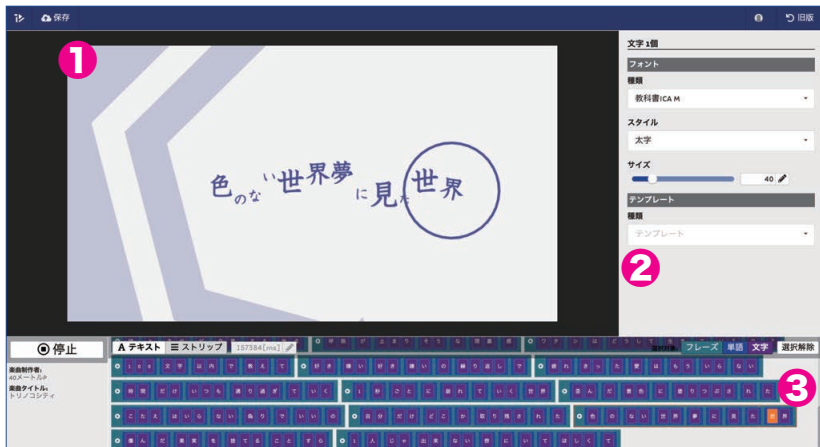


動画を保存後、「動画を編集する」をクリック

2 編集画面

TextAliveの編集画面は、大きく分けて「動画プレイヤー」「編集パネル」「タイムライン」の三つから構成されています。

各フレーズ・単語・文字の動きの演出を決めるテンプレートを選んだりパラメタを調整できる「編集パネル」と、時系列にフレーズ・単語・文字が並ぶ「タイムライン」を使って、タイミングを調整したり、自分好みの演出を探したりできます。



▲ 実際の編集画面

大きく分けて「動画プレイヤー」、「編集パネル」、「タイムライン」の三つから構成されている

① 動画プレイヤー

画面左上にある黒い背景のエリアです。ここに歌詞アニメーションが表示されます。クリックで再生・停止します。

② 編集パネル

動画プレイヤーの右側にあるパネルです。ここでは、現在選択しているフレーズ・単語・文字・グラフィックに関する編集を行います。

「フォント」「テンプレート」のセクションがあり、それぞれタイムラインで選択した対象を編集できます。使用できるフォントについては、「TextAliveで使えるフォント一覧(p.19)」をご参照ください。

「テンプレート」はバージョン管理されていて、最新版に「アップデート」したり、その場で「編集」して保存し、他の人も使えるようにしたりできます。「編集」はとくにライブプログラミングと呼ばれる機能で、詳しくは「ライブプログラミングを活用する(p.17)」を参照してください。

③ タイムライン

歌詞の可読性が高い「テキスト」と、通常の動画編集ソフトウェアのような「ストリップ」の2種類が選べます。「ストリップ」では歌詞の発声タイミングやグラフィックの表示タイミングを編集できます。こうしたタイミング情報は歌詞アニメーションの保存時に一緒に保存されます。

また、歌詞の発声タイミングが誤っている場合に、大まかに修正した範囲に対して「歌詞部分同期ツール」を使用することで、その部分のタイミングだけ精密に再推定を行わせることができます。

歌詞の発声タイミングはバージョン管理されており、他のユーザとも共有されます。「歌詞ページ」で確認・編集できます。

3 歌詞アニメーションをダウンロードする

編集が終わったら、変更内容を保存します。ユーザ情報ページに移動し、「これまでに制作した動画」の中から、ダウンロードしたいものを選んでクリックします。

選択した歌詞アニメーションの動画ページを開き、「レンダリング」タブをクリック

「ライセンス条件をチェック」をクリック

「ライセンス条件に同意する」*をクリック

* 音楽・イラスト・歌詞テキストがそれぞれ以下のライセンス条件を満たしている必要があります。
また、Songleプライベート楽曲の機能を使っている場合は、音楽・歌詞テキストのライセンスチェックは不要です。

音楽・イラスト

非営利目的に限ります： はい
作品の改変を許可しますか？： はい
オリジナルライセンスを付けますか？： いいえ

歌詞テキスト

非営利目的に限ります： はい
作品の改変を許可しますか？： はい または いいえ
オリジナルライセンスを付けますか？： いいえ

動画ページの「レンダリング」タブから「ライセンス条件をチェック」をクリック後、「ライセンス条件に同意する」と動画の書き出しメニューが表示されます。

▲ レンダリング時に書き出したい画質を選ぶことができる

書き出したい画質を選ぶと、サーバ上でのレンダリングが開始されます。レンダリング終了後、動画ページを再訪すると書き出した歌詞アニメーションのダウンロードが可能になっています。

3. 完成した歌詞アニメーションを公開しよう

歌詞アニメーションの公開

ダウンロードした歌詞アニメーションはZIP形式で圧縮されており、利用条件が書かれたテキストファイルも同梱されています。

ライセンスなどの利用条件を遵守すれば、他サイトへ公開・投稿することが可能です。なお、営利目的で利用されたい場合は巻末の連絡先にご一報ください。

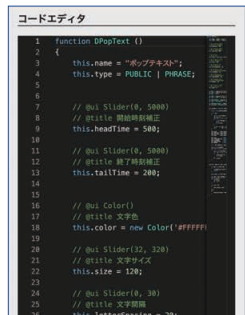
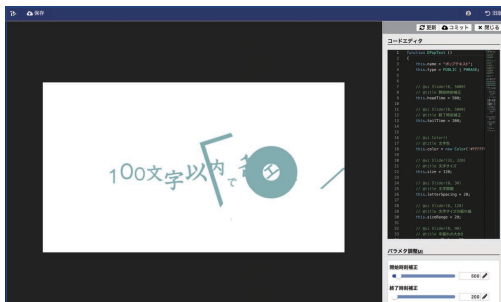
Case
3

プログラミングで拡張できる プログラミング機能やAPIを利用しよう

TextAliveをプログラミングで強化しよう

多くの動画制作ソフトウェアは、プラグインを追加することで演出力を強化できます。ただし、プラグインの開発は別のプログラミング環境で行う必要があるのが通例です。TextAliveは、独自のプログラミング環境技術により、動画制作ツールでありながらプログラミング環境の機能も内包していて、プログラミングできる人と動画制作したい人の距離をもっと縮めてくれます。

TextAliveでは、動画の編集画面でテンプレートを選び、「編集」をクリックすれば、JavaScriptで書かれたテンプレートのプログラムを編集できます。このライブプログラミング機能によって、すぐに動画を再生したまま演出を確認しながらプログラミングを楽しむことができます。



さらに、変数宣言に特別なコメントをつければ動画制作者が触れるユーザインタフェースを出すことができます。例えば `// @Slider(0, 100)` でスライダーが、`// @Check` でチェックボックスが、`// @Color` でカラーパレットが表示されます。こうしたテンプレートを編集するためのパラメータは動画制作者側から提案することもでき、多様な技術的背景を持った人たちが協力し合えるプラットフォームが実現されています。

TextAliveのAPIを利用しよう

TextAliveは外部ウェブサイトなどから利用できるJavaScriptのAPIを公開しており、歌詞アニメーションを外部ウェブサイトに掲載したり、歌詞アニメーションを生成する機能の一部を利用したりすることもできます。



文字と出会おう！ TextAlive Fonts

<https://fonts.textalive.jp>にアクセス！

TextAlive Fontsとは？

TextAlive FontsはTextAliveのスタイルをカスタマイズする際に利用できるフォント（書体）を紹介するウェブサイトです。

フォントの特徴を記載した解説文や、実際にそのフォントを使用した作例画像などが掲載されており、TextAlive上での歌詞アニメーション制作に役立てることが可能です。



TextAliveで使えるフォントについて

23種類のフォントから、好きなものを選んで使用できます（2019年7月現在）。

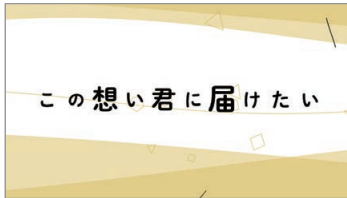
個性豊かなフォントを活かすことで、歌詞アニメーションにより魅力的な演出を加えることができます。また、同じフォントを使っている場合でも、組み合わせる背景色やスタイルの種類によって、ぐんと表情が変わります。

TextAliveで使えるフォント一覧

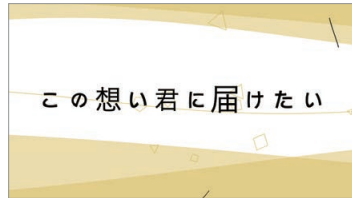
- IPAex明朝 ●こころ明朝体 ●さわらび明朝 ●花園明朝
- はれのそら明朝 ●はんなり明朝 ●明朝體フォント むつき
- M+ 1p ●Noto Sans Japanese ●Rounded M+ 1c
- さわらびゴシック ●ラノベPOPフォント ●ニワキウ
- 二つモジ ●みかちゃん

TextAlive Fontsでは上記のフォントを順次紹介していきます。また、TextAliveでは他にも以下のようなフォントが使用できます(2019年7月現在)。

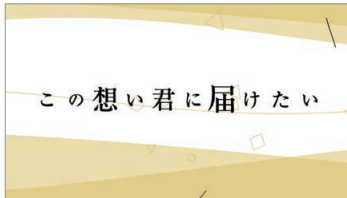
秀英丸ゴシック B



わんぱくゴシックNM



リュウミン M-KL



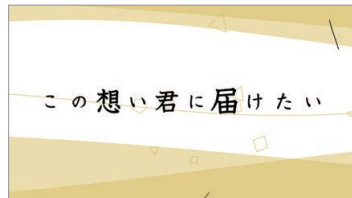
すずむし



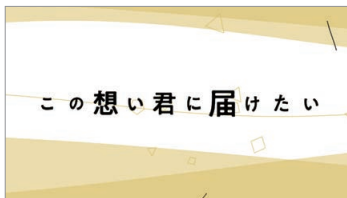
新ゴ エンボス



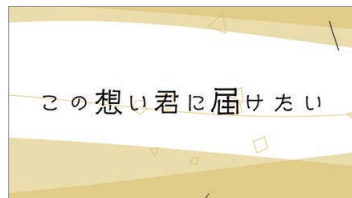
教科書ICA M



A1ゴシック M



シネマレター





創作文化の未来を拓く

TextAliveのこれまでとこれから

TextAliveの活用事例

「SNOW MIKU LIVE! 2018」「初音ミク マジカルミライ2018」

TextAliveで制作された歌詞アニメーションは、これまでも実証実験の一環としてさまざまなライブで活用されてきました。例えば「SNOW MIKU LIVE! 2018」ではテーマソング「四角い地球を丸くする」(TOKOTOKO(西沢さんP) feat. 初音ミク)と「愛の詩」(LamazeP feat. 初音ミク)、「初音ミク マジカルミライ2018」では楽曲コンテストグランプリを受賞した「METEOR」(DIVELA feat. 初音ミク)の公演中、初音ミク後方のディスプレイに動画が投影されました。



- ▲ 左 : 「SNOW MIKU LIVE! 2018」テーマソング「四角い地球を丸くする」/ TOKOTOKO(西沢さんP) feat. 初音ミク
- ▶ 右上 : 「SNOW MIKU LIVE! 2018」公演使用楽曲「愛の詩」/ LamazeP feat. 初音ミク
- 右下 : 「初音ミク マジカルミライ 2018」楽曲コンテストグランプリ楽曲「METEOR」/ DIVELA feat. 初音ミク

こうした動画は、TextAlive上で閲覧できるだけでなく、誰でも編集できるようになっています。各種テンプレートの使い方の実例を確認できるので、次作のヒントが見つかるかもしれません。また、「四角い地球を丸くする」の演出については、これを参考にしたスタイル「カラフルキャンパス」が「SNOW MIKU LIVE! 2018」にあわせて公開されました。一曲のために演出を作り込めば、他の曲でも同様の演出を楽しむやすくなるのはTextAliveの特長の一つです。

四角い地球を丸くする / TOKOTOKO(西沢さんP) feat. 初音ミク

<https://textalive.jp/videos/682>

愛の詩 / LamazeP feat. 初音ミク

<https://textalive.jp/videos/700>

METEOR / DIVELA feat. 初音ミク

<https://textalive.jp/videos/1275>

SNOW MIKU LIVE! 2018
© Crypton Future Media, INC. www.piapro.net / © SEGA
Graphics by SEGA / MARZA ANIMATION PLANET INC.
Production by Crypton Future Media, INC.

初音ミク マジカルミライ 2018
© Crypton Future Media, INC. www.piapro.net / © SEGA
Graphics by SEGA / MARZA ANIMATION PLANET INC.
Organized by TOKYO MX / Crypton Future Media, INC.

TextAliveの設計思想

TextAliveが目指すこと

2014年から始まったTextAliveプロジェクトの根幹を支えるのは、「誰もが自分の好きな関わり方で創作に貢献できたら、きっと楽しい未来が拓けるに違いない」という考えです。TextAlive開発初期に執筆された研究論文[1]でもTextAliveの持つ“duality for the designer and programmer”について論じており、一人のための一種類のユーザインタフェースではなく、コンテンツのまわりにも多様な人々が集うような環境を作りたいと考えて研究開発を行ってきました。

例えばTextAliveでは、テンプレートのパラメタがプログラマと動画制作者の間の共通言語になっています。プログラマはテンプレートの設計時にどのような自由度を与えれば動画制作者の意図する表現が可能になるか考えます。テンプレートを受け取った動画制作者は、用意されたパラメタに不満があれば、新しいパラメタを提案してプログラマに通知することもできます。こうした機能は“Live Tuning”[2]や“User-Generated Variables”[3]と名づけられ、TextAliveだけでなくInternet of Thingsデバイスのプロトタイピング用環境[4]などにも応用されている研究成果です。

視聴者、楽曲制作者、動画制作者、プログラマなど異なる技術的背景を持つ人々の間にある壁を技術開発で取り払っていくことで、人々の総体としてのクリエイティビティを向上する——そうした包摂的で創造的な社会こそが、TextAliveプロジェクトを通して実現させたい未来であり、そんなプラットフォームの探究も“研究者”の仕事であると考えています。

参考文献一覧

- [1] TextAlive: Integrated Design Environment for Kinetic Typography. Jun Kato, Tomoyasu Nakano, Masataka Goto. Proceedings of the 33rd Annual ACM Conference on Human Factors in Computing Systems (ACM '15, Best Paper Honorable Mention Award), pp.3403–3412, 2015.
- [2] Live Tuning: Expanding Live Programming Benefits to Non-Programmers. Jun Kato, Masataka Goto. Proceedings of the Second Workshop on Live Programming Systems (LIVE '16), 2016.
- [3] User-Generated Variables: Streamlined Interaction Design for Feature Requests and Implementations. Jun Kato, Masataka Goto. Companion to the First International Conference on the Art, Science and Engineering of Programming (Programming Experience 2017 Workshop; PX/17), pp.28:1–28:7, 2017.
- [4] f3.js: A Parametric Design Tool for Physical Computing Devices for Both Interaction Designers and End-users. Jun Kato, Masataka Goto. Proceedings of the 2017 Conference on Designing Interactive Systems (ACM DIS '16), pp.1099–1110, 2016.

関連サービス

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 メディアインタラクション研究グループでは、TextAliveの他にもコンテンツの鑑賞、創作を支援するサービスの実証実験を行っています。詳しくは<https://ongaaccel.jp>をご覧ください。

Songle——音楽の中身を自動解析する能動的音楽鑑賞サービス

<https://songle.jp>

Songrium——膨大な音楽コンテンツを俯瞰できる音楽視聴支援サービス

<https://songrium.jp>

TextAlive開発チーム

プロジェクトリーダー

加藤淳(統括、着想、ウェブ実装、デザイン)

プロジェクトメンバ

後藤真孝(着想、音楽理解エンジン)

中野倫靖(歌詞同期エンジン)

川崎裕太(ウェブ実装補助)

石田啓介(スタイル実装)

井上隆広(Songle API)

中村美慧(本誌デザイン・イラスト)

連絡先

textalive-ml@aist.go.jp

Twitter

@TextAlive.Jp

TextAliveは、国立研究開発法人 産業技術総合研究所
が学術目的で一般公開をしながら実証実験をしている
サービスです。

本研究の一部は、JST ACCEL(JPMJAC1602)の支援
を受けています。





音楽に合わせてタイミングよく歌詞を
アニメーションさせる動画をウェブ
ブラウザ上で制作・編集・共有できる
TextAliveの最新情報をお届けします!

 TextAlive



<https://textalive.jp>

